

6-1 場合の数、確率の意味

①A、B、C、Dの4人が1列に並ぶとき、次の問いに答えなさい。

- (1)Aが先頭に並ぶとき、4人の並び方は、全部で何通りあるか。
 (2)4人の並び方は、全部で何通りあるか。

②次の問いに答えなさい。

- (1)A、B、C、Dの4人の中から2人の委員を選ぶとき、その選び方は何通りあるか。
 (2)A、B、C、Dの4人の中から委員長と副委員長を選ぶとき、その選び方は何通りあるか。

③右の図のように、10円硬貨を500回投げる実験をして、表のでた回数を調べた。このとき、次のことについて考えなさい。

- (1)①にあてはまる数を求めなさい。
 (2)実験結果から、表の出た割合はほぼいくらといえるか。

投げた回数(回)	100	200	300	400	500
表の出た回数(回)	55	104	144	204	248
表の出た割合	0.55	0.52	①	0.51	0.496

④1つのさいころを投げるとき、次の確率を求めなさい。

- (1)偶数の目が出る確率 (2)3の倍数の目が出る確率 (3)4以下の目が出る確率

6-2 いろいろな確率の求め方

①2枚の硬貨を同時に投げるとき、次の問いに答えなさい。

- (1)表を○、裏を×として、起こりうるすべての場合の数が何通りあるか、樹形図をかいて求めなさい。
 (2)2枚とも表が出る確率を求めなさい。
 (3)1枚は表、1枚は裏が出る確率を求めなさい。

②大小2つのさいころを同時に投げるとき、次の目が出る確率を求めなさい。

- (1)同じ目が出る確率 (2)目の数の和が9以上になる確率

③①、②、③、④の4枚のカードがある。このカードをよくきって、1枚ずつ2回続けて取り出し、取り出した順に左から並べて2けたの整数をつくる。このとき、できた整数について、次の問いに答えなさい。

- (1)樹形図をかいて、すべての場合の数を求めなさい。
 (2)できた整数が偶数である確率を求めなさい。

④袋の中に、赤玉3個と白玉2個が入っている。この袋から同時に玉を2つ取り出すとき、次の問いに答えなさい。

- (1)玉の取り出し方は、全部で何通りあるか。
 (2)2個とも赤玉である確率を求めなさい。
 (3)少なくとも1個は白玉である確率を求めなさい。